

1 カノコソウ

2 生薬の性状の項の次に次を加える。

3 確認試験 次の i)又は ii)により試験を行う。

4 i) 本品の粉末0.1 gに水20 mLを加え、ジエチルエーテル5
5 mLを加えて10分間振り混ぜた後、遠心分離し、ジエチルエ
6 ーテル層を試料溶液とする。この液につき、薄層クロマトグ
7 ラフィー (2.03) により試験を行う。試料溶液5 μ Lを薄層ク
8 ロマトグラフィー用シリカゲルを用いて調製した薄層板にス
9 ポットする。次に酢酸エチル/ヘキサン/酢酸(100)混液
10 (60 : 40 : 1)を展開溶媒として約7 cm展開した後、薄層板を
11 風乾する。これに希硫酸を均等に噴霧し、105°Cで3分間加
12 熱するとき、 R_f 値0.45付近に黄褐色～赤褐色のスポットを認
13 める。

14 ii) 本品の粉末0.1 gに水20 mLを加え、ジエチルエーテル5
15 mLを加えて、10分間振り混ぜた後、遠心分離し、ジエチル
16 エーテル層を試料溶液とする。この液につき、薄層クロマト
17 グラフィー (2.03) により試験を行う。試料溶液5 μ Lを薄層
18 クロマトグラフィー用シリカゲルを用いて調製した薄層板に
19 スポットする。次にシクロヘキサン/アセトン/ギ酸混液
20 (70 : 30 : 1)を展開溶媒として約7 cm展開した後、薄層板を
21 風乾する。これに噴霧用4-メトキシベンズアルデヒド・硫
22 酸・酢酸・エタノール試液を均等に噴霧し、105°Cで3分間
23 加熱するとき、 R_f 値0.55付近の青紫色のスポット又は R_f 値
24 0.5付近の最初に淡赤色～淡赤褐色、後に青紫色を呈するス
25 ポットのうち少なくともいずれかのスポットを認める。

26